

令和7年度府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ① 自分の学びに見通しをもち、定期的に振り返る活動を行いながら、自分で学習していくこと
- ② 児童同士で対話をしながら学習を深めていくこと
- ③ 今までの学習や次の学習に結び付けて考えられるようにすること

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 児童の学びをサポートする役割と考え、自分で答えを導き出す過程を支援する。
- ② 児童が考えを深められるようなプロンプト（問いかけ）を行う。
- ③ 児童の定期的な振り返りから学習の方向性を修正したり具体的なアドバイスを行ったりする。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ・自分たちで考えた課題を解決しようと主体的に学ぼうとする子【発見・対話】
- ・新たな気付きや疑問から学ぶ道のを調整しようとする子。【決定・表現】

(2) 目指す授業像

- ・気付きや疑問から「問い」を見出し、振り返りながら学ぶ授業サイクルができる授業。【発見】
- ・ペア、グループでの話し合い活動を計画的に取り入れた学び合いのある授業。【対話・表現】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	児童の気付きから単元ごとのゴールを示し、児童が主体的に自分で学習を進めていくようにする。対話を通して学びを深める。【発見・対話】	音楽	新しい単元や楽曲に取り組む際、既習事項からの気付きや疑問、課題を見付け、実際に演奏したり聴いたりしながら、表現することの楽しさを味わわせる。【発見・表現】
算数	気付きや疑問を大事にし、分かったことや学んだことを自分の言葉でまとめることができるようにする。友達と対話することで学びを深める。【発見・対話】	図画工作	様々な題材や素材を使った作品を提示し、完成までの見通しをもたせるとともに、タブレット端末を活用して、プロセスをふり返り、学びを深める。【発見・表現】
社会	児童が自分で気付きや疑問から学習問題を見付け、学習計画を立てて学びを深めるようにする。【発見・決定】	家庭	タブレット端末を活用して、活動や実践の記録を残し、振り返るための資料とし、次の自分の生活の課題を考えさせる。【発見・決定】
理科	単元始めの気付きや疑問から「問い」を立て、実験や観察の視点や計画を自分（たち）で考えて、解決できるようにする。【発見・決定】	体育	友達の動きを見たり、発言を聞いたりすることで課題解決の糸口を見付け、単元のゴールイメージをもちながら活動させる。【発見・対話】 eポートフォリオを活用し、学びを深める。また振り返りにも使うことで、次の学びや生活に生かす。【表現・決定】
生活	単元始めの気付きや疑問を大事にし、友達と対話しながら課題を解決していく。【発見・対話】	外国語	単元の始めにsmall talkやデモンストレーションを見せ、児童がゴールを考えて決める。【発見・決定】 ペアやグループの活動を取り入れ、会話する機会を多くもたせ、表現する楽しさを味わわせる。【対話】

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・フィグジャムやフォーム、スプレッドシート等を活用し、児童の考えを共有することで友達との意見交流ができるようにする。【対話】
- ・スライドやドキュメントを活用し、学習のまとめをしたら、意見交流をしたりする。【表現】
- ・学習の経過、成果物等の記録をeポートフォリオとして残すことで学びをつなげ、生かす。【発見】